

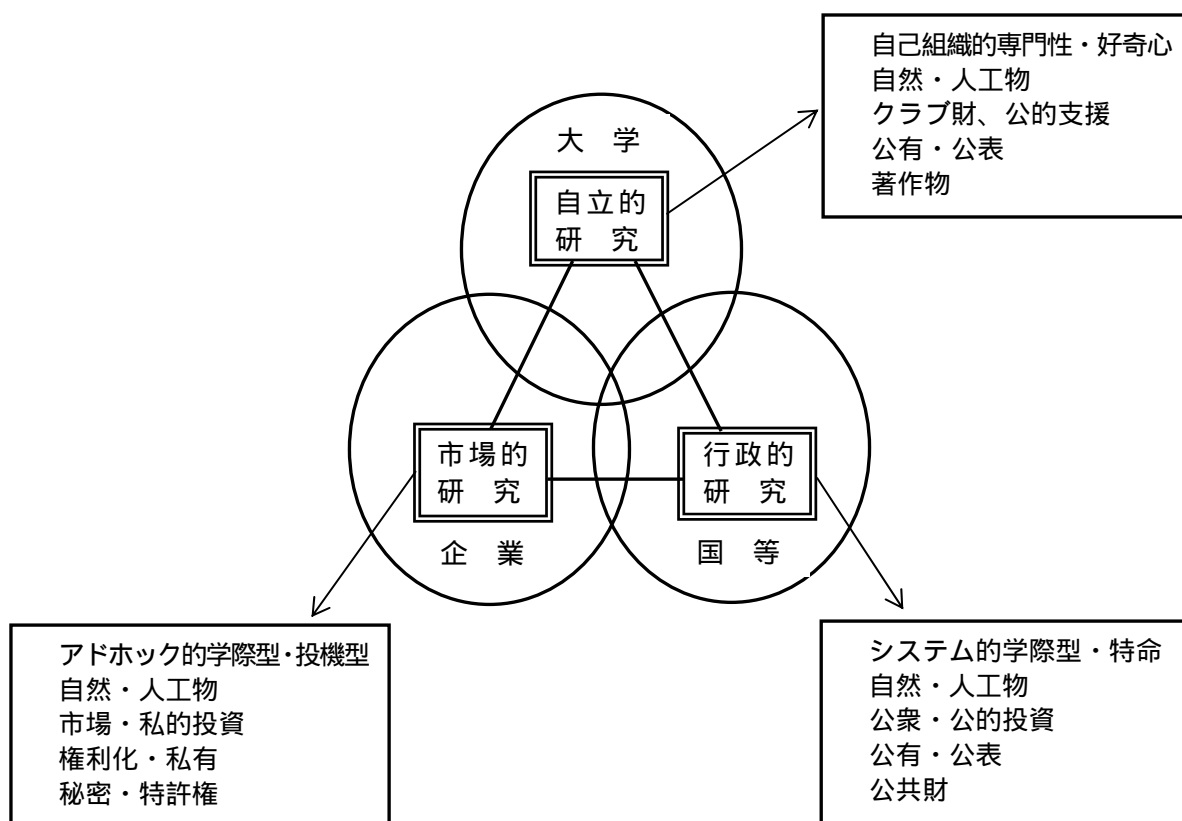
技術政策と産学官連携（２） - 行政の試験研究機関の意義 -

１．はじめに

前月号では、官民連携において生み出された創意工夫の権利化問題など、協働の知的活動で生み出された生産物の権利化等が、ネットワーク・ガバナンスを形成する上で極めて重要な課題となることを指摘した。この課題を検討する前提として、協働主体ごとの研究、創意工夫に関する活動の特性を踏まえることが必要となる。その共通点と相違点を理解した上でガバナンスの構造を組み立てなければならないからである。

図表１は、各主体間で比較をするために、研究活動の特性と動機づけ、研究の主な対象、研究活動の財源の性格、研究成果に対する所有権と公表の有無、研究成果の権利化形態の各項目について、事実確認として特性を整理したものである。以下では、主体ごとの特性と新たなネットワーク関係における行政の試験研究機関の役割について概括する。

（図表１）産学官連携の行動様式



２．大学、企業による研究の特性

大学を中心とした自立的研究では、自己の好奇心に基づく研究課題の発掘と研究活動の駆動から内部的な評価に至るプロセスによって一つのサイクルが形成される。このサイクルを通じて形成される情報は、自立的・循環的であると同時に閉鎖的でもあり、一定のオーナーシップを通じて公有・公表される。公有・公表は、書籍、雑誌、論文等を通じて行われ、研究成果としての情報それ自体が提供対象となる。

【視点・論点】

これに対して、企業を中心とする市場的研究では、市場の需要ニーズ、企業戦略等外部主導型の研究課題発掘からはじまり、市場等の外部評価によって一つのサイクルが完結する。ここでは、外部的・横断的な情報が形成され、その情報を組み込んで開発された商品・製品・サービス等が市場に供給され評価される。研究活動の成果たる情報自体は、市場を通じた外部評価とは切り離され、特許権等知的所有権の設定や企業秘密の形成などによって評価または管理される。なお、投資型の外部主導型研究では、研究課題が短期的になりやすいことも特性としてあげられる。

3．行政的研究の特性と意義

以上の自立的研究、市場的研究に対して、行政的研究はいかなる特性を有するか。これは、国や地方自治体の試験研究機関の存在意義が問われる中で、確認しておくべき重要な事項と言える。行政的研究では、市場的研究と同様に外部主導型の研究課題発掘と駆動が主体となる。行政的ニーズに根ざした研究課題の発掘が基本であり、外部評価に至るまでの一連のサイクルが形成される。

行政的研究は、自立的研究、市場的研究を補完する役割を果たす。自立的・市場的研究は、自己の好奇心そして市場からのニーズを研究の駆動要因としている。このため、研究活動の対象が限定的となり、社会全体で求められる研究活動を全て網羅することは本来的に難しい体質を持っている。大学と企業の研究活動を連携させることは、研究活動の質を高めると同時に、より実践的な研究成果の追求を強める要因となる。しかし、それだけでは社会的に求められる研究ニーズに応えることはできない。なぜならば、自立的研究と市場的研究との連携は、市場に対する応答性は高めても、社会全体に対する応答性は希薄化させやすいからである。行政的研究は大学や企業では網羅できず、社会との応答性が希薄化する分野の研究を主に担う役割を持つ。したがって、国や地方自治体の試験研究機関の意義そして評価として、大学や企業と同様の基準を設けることは不適切であり、かえって行政的研究の意義を低下させる原因となることに留意すべきである。

4．自立的研究と市場的研究の連携

産学官連携の中で、とくに自立的研究と市場的研究の連携が強まっている。大学等における自立的好奇心を主体とした研究活動が、市場等の外部要因によって駆動される度合いを強めることになる。市場的研究の成果は、商品やサービスに具現化され市場の外部評価にさらされる。しかし、商品やサービスの具現化を支えた研究成果としての情報は公表されない場合が多く、秘匿化されるか特許権等知的所有権の設定によって権利化される。秘匿化、権利化された研究情報は自立的研究にフィードバックされ、大学等を中心とする自立的研究のクラブ財、公的支援を中心とする体質に変化をもたらす。そのことは、さらに自立的研究の駆動要因を市場的にする要因ともなる。

研究活動への外部駆動要因として市場の影響が強まるほど、社会全体としての研究領域のネットワーク化が不可欠となる。なぜならば、本来的に研究領域のカバレッジが限定的な市場的研究と自立的研究の両分野が市場性を高めることによって、社会的応答性が低下しカバレッジの限定性をより強めることになるからである。行政の試験研究機関の存在意義を主体論的に整理するだけでなく、大学や企業の連携により変化する両主体の体質を補う関係を行政の試験研究機関がいかに形成するかが大きな課題となる。